

Rotary



# 宮崎南週報



ロータリー：  
変化をもたらす

イアンH.S.ライズリー  
2017-18年度RI会長

## 南の風、みんなで参加。

宮崎南ロータリークラブ  
会長 戸高 勝利

### 第1943回例会

2017.12.4

会長／戸高勝利 幹事／入佐秀幸  
副会長／日高勇二 会報／島田博良  
例会場／宮崎観光ホテル  
ソング／日も風も星も  
ロータリーの目的



宮崎西RC  
高宮真樹会員



宮崎RC  
水居 徹会員

#### 会長挨拶



皆さんこんにちは。いよいよ師走になりますと、慌ただしくなります。この季節になりますと、県内各地で神楽が始まります。一昼夜かけて33番が舞われる伝統の夜神楽です。特に有名なのは高千穂神楽として海外公演も数多くされております。西都の銀鏡神楽は歴史を感じさせますし、近くでは清武町の船引神楽も有名です。ただ残念な事に一部のお客さんの中に、横柄な態度が問題視されておるのも事実です。神楽の鑑賞やおもてなしを受ける訳ですので礼儀、行動には気を遣うのも文化ではないでしょうか。新聞紙上で椎葉村の松尾神楽が27年ぶりに復活しましたとの記事がありました。地区長さん、神楽保存会、老人会、青年会、婦人会、地区の皆さんが、地域活性化をテーマに協議を始められ団結され実現したようです。このように「どうにかしないといけない」と行動している地区やグループは沢山おられます。私たちロータリーもそのようなところに関わりをもてないでしょうか。例えば神楽を継承しようとしている小、中学生や指導者には青少年奉仕、青年会や婦人会には職業奉仕、社会奉仕、海外から宮崎の文化を学んでいる外国人には国際奉仕の各部門で支援、奉仕活動があるように思えます。神楽宿で舞を楽しみ、カッポ酒を頂きながら宮崎の文化を満喫しませんか。ロータリアンとして何かが見つかりそうな気がします。

#### 戸高勝利会長

### 出席委員会報告

長澤好太郎委員長

#### ●出席状況

本日状況		前々回状況	
会員数	(44) 46名	会員数	(43) 46名
本日欠席者数	9名	ホームクラブ出席者数	30名
本日出席者数	37名	メークアップ数	2名
出席率	84.10%	修正出席者数	32名
		修正出席率	74.40%

●前々回メークアップされた方／寺村明之会員、山地久守会員

ニコニコ  
BOX

0件 0円  
累計 89,000円

募金箱

50717円  
累計 89,682円

### 幹事報告

山地久守副幹事



- ・2017決議審議会 結果速報をボックスに入れておりますので確認をお願いします。

### ロータリーフラッシュ

#### ●誕生日月

坂田 勝会員 森 英典会員 矢野智哉会員  
高瀬俊彦会員



#### ●結婚月

日高章智会員 開地俊昭会員 長澤好太郎会員



### Rotary ロータリー情報

### ●疾病予防と治療月間 (Disease Prevention and Treatment Month)

地域社会の医療従事者の能力向上、伝染病の伝播を食い止め、非伝染病とそれによる合併症を減らすための、疾病予防プログラム、地域社会の医療インフラの改善、疾病的蔓延を防止することを目的とした、地域住民への教育と地域動員、疾病またはケガによって引き起こされる身体障害の予防、疾病予防と治療に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間。

## 本日のプログラム

### 会員卓話

安井息軒顕彰会 館長 川口眞弘様 理事長 若智弘子様



宮崎南ロータリークラブには日頃より大変お世話になっております。宮崎市安井息軒記念館記念館の館長の川口眞弘と申します。どうぞよろしくお願いします。

安井息軒は明治9年に77歳で亡くなっています。当時息軒は極めて高名で、大正4年には文豪森鷗外が小説「安井夫人」を書き、夏目漱石の小説「吾輩は猫である」の中にも坂本龍馬と並んで安井息軒の名前が登場するほどです。戦前まで「安井夫人」は女性の鏡的な存在として度々教科書に採択されていましたので、高齢者の中には学校で習ったという方もたくさんいらっしゃいます。しかしながら戦後教科書に登場することはありませんでした。

また幕末から明治にかけてたくさんの偉人や志士たちが名を連ねていますが、息軒の場合には幕臣として時代を終えたこと、偉人や志士たちの先生や親の世代であったことなどから話題にされることが減ってきた感があります。

しかしながら志ある研究者たちの研究によって、単なる幕末の大儒学者に留まらない、息軒の新しい側面が見えてきました。実は息軒の私塾、三計塾へ

の入門者は明治時代になってから最大を迎えたのです。それは息軒が非常に奥深く、そして幅広い学者で、儒学はもとより洋学や蘭学、そして法学にも精通していたことに起因しています。学問を志す若者はもとより、政府の官僚や知事たちがたくさん入門してきたのです。

彼らは息軒から幅広い学問を吸収し、まず法体系を整備し、それに基づいて国家や地方の政治を推進しよう考えたのです。法家思想に精通していた息軒の教えは、西洋の法治主義が導入されるための土壤を整備することにつながったのです。考えてみるとアジア諸国の中で日本は確固たる法治国家としての地位を築いています。こうした弟子の代表格は大日本帝国憲法の草案を書いた井上毅であり、陸奥宗光、谷干城、高鍋出身で大審院の院長を務めた三好退藏等です。

このように知の巨人にして、法治国家への先導役を務めた宮崎の誇る偉人、安井息軒の出身地、清武のSOKKENスタジアムに、平成27年安井息軒の案内看板が、翌28年にはその若く美しい佐代夫人の看板が完成、そして本年10月、安井息軒誕生の地に「安井息軒記念館周辺散歩マップ」が完成しました。いずれも宮崎南ロータリークラブの皆様のご厚志によるものです。看板は宮崎市安井息軒記念館の大変目立つ場所に立てられていますので、来館者は車から降りるとすぐ看板に直行し、予定を決めてから次の行動に移る光景が見受けられます。

この度のご寄贈、誠にありがとうございました。ここに深甚の謝意を表します。会員の皆様も是非ご来館ください。また本館には70名ほど収容できる会議室もありますので、ご活用いただけますと幸いです。

末筆ながら宮崎南ロータリークラブの益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げてお礼のご挨拶とします。



新設された記念館周辺 散歩マップ